



広報

秋 田

平成 3 年 (1991 年)

8 月 1 日

No. 665

(毎月 1 日・15 日発行)

発行／秋田県五城目町

ぞじょうめ



7月16日、五城目小学校「七夕まつり」にて

主 な 内 容

- 海外研修レポート 2
- 子どもの祭典 4
- 町政座談会 5
- 秋田追分全国大会 6
- 五城目人物山脈 13

みんなで踊ろう
アンパンマン音頭!

環日本海洋上セミナー

ソビエト研修レポート

六月十九日から二十三日までの五日間にわたり行われた「環日本海洋上セミナー」ソ連への旅」には、本町から十八人が参加しました。今回、団長の小玉哲司さんから研修レポートをお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。



▲ニューゆうとびあ号のデッキにて



▲パン屋の前に行列をつくる人々
(ウラジオストク)



▶極東一の軍港・ウラジオストク港



▶ナホトカの日本人墓地

研修参加者（敬称略）

・小玉哲司（館町）・村上勝宏（高崎）・佐藤善弘（平ノ下）・小玉静夫（西野）・石井五兵衛（寺庭）・金野馨（平ノ下）・佐藤悦郎（西野）・北島弘宇（大川）・千葉和彦（小倉）・石井勝義（黒土）・伊藤孝子（町村）・佐藤恵（大川）・長谷川孝子（米沢町）・内藤信好（蓬内台）・椎名友光（富田）・宮崎博之（町村）・渡辺四郎（大川）・渡辺エツ（大川）

五城目町研修団团长 小玉哲司（館町）

6月19日8時、役場正庁での壮行会。佐藤町長より激励を受けいよいよ出発。

前日より我々の乗船を待ち白い船舶にくっきりと青線のニューゆうとびあ号「環日本海」秋田ーソ連友好親善の旅」民間外交の船出。

船内レストランでの昼食後荷物の整理も程々に「環日本海洋上セミナー」の始まり。

渡辺誠一郎氏（秋田魁新報社論説委員長）演題「ソ連と秋田」、新野直吉氏（秋田大学学長）演題「古代沿岸地方と秋田」。

講演後の夕食。乾杯の嵐。開放された各船室では、交流が続く。がんばっている村上勝宏さん。こまめに洗濯の佐藤善弘さん。打ち合わせに忙しい県連青副会長の小玉静夫さん。

6月20日3時30分頃、船は、濃霧の中を静かに進行、そろそろ休みましようとして石井五兵衛さん。

8時15分洋上セミナー再開。佐藤憲一氏（元本荘市長）演題「ソ連と私」。

10時15分、ナホトカ湾へ屋敷下船。税関チェック。

民族衣装での踊りや日本の歌で大歓迎を受け一緒に踊ったり、カメラでバシャバシャの金野馨さん。10年前には出来なかったアンケート調査を計画した佐藤悦郎さん。10台のバスに分乗しパトカーの先導で市内視察へ。10数年振り

の日本人墓地、やすらかに休み下さいとワンカップを置いて。合掌。

バスは、でこぼこ道をうなりをあげて、ナホトカ母の像へ。ベリング海での遭難慰霊碑で137階段の上に子どもを抱き悲しそうにじっと海を見つめて建っていました。

ナホトカ副市長を囲んでの立食パーティー。口に合わないといふ北島弘宇さん。再び船へ。

税関から船に乗り込む際に相手のミスで渡辺エツさんのパスポートが紛失し1時間位足止めされる。

船内レストランで夜食のそばを楽しむように食べている伊藤孝子さん、佐藤恵さん、長谷川孝子さんの3人娘。

ガスコンロでラーメンを作ってくれた呑まない内藤信好さん。遅くまで班長会議に出席の宮崎博之さん。

6月21日、各地より日本へ手紙を出すというハリキッている椎名友光さん。

どしゃ降りの雨の中、4時間道のりを山を越え、うなりを上げるバス。カーブのガードレールは白黒塗装のコンクリート製。前夜の疲れも見せずに前席でビデオを撮りながら子ども達を「少年の船」にやると石井勝義さん。

ウラジオへ入る頃には青空海岸に建つアムールスキーホテルで黒パン昼食。佐藤憲一先生の世話役係の千葉和彦さんとコニヤックで乾杯。港に

は、軍艦が停泊。市内を走る2連結トローリーバスの運転は女性。路面電車・路線バスは満杯のお客さんに乗せて大柄な男達の運転でした。

抑留生活時に、自分が手掛けた建物がしっかりと残っており目を潤ませながらじっと見つめていた渡辺四郎さん。ホテルへの宿泊。地元の青年達がキャビアとウオッカを部屋に押売り100円で買った珍味で乾杯。

6月22日同じ道を一路ナホトカへ。出航時には、バスの運転士、通訳、パトカーの人々までがぎれる程に手を振ってくれました。また逢う日までダスヴィグダーニヤ（さようなら）。

現地青年等による歌と踊りや歓迎パーティーに太鼓・半纏等持参で毎日をリードしてきた我が町の仲間達。総ての日程が終了し、我々主催の二次会には、ゆうとびあホールに100人以上が参集し、各市町村からの議論が続出し、まるで「全県町づくりセミナー」のようでした。

いつの日か「明日を見つめる五城目町の船」で毎回対岸に町民300名が訪れたとしたら。環日本海時代をリードする全国一の町として、住民の心に「大きな誇り」が生まれる日を夢見ながら、6月23日全員無事ふさと五城目町へ。みなさんスッピーバ（ありがとう）。

五城目町職員採用試験

1次は9月22日

初級一般事務の五城目町職員採用試験を実施します。

▽採用予定人員 3人

▽受験資格

五城目町に住所を有する方で、昭和39年4月2日から同49年4月1日までに生まれた方

▽試験方法

(1)第1次試験：教養試験
(2)第2次試験：口述試験、作文、身体検査、身上調査

▽試験日時（1次試験）

9月22日（日）午前9時受付

▽会場（1次試験）

秋田経済法科大学

▽受付期間

8月2日（金）～21日（水）

▽申込用紙の請求

〒018-117 五城目町上樋口字向川原12-2 五城目町役場庶務課 電話52-2100

※郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、宛先を明記して62円切手をはった返信用封筒を必ず同封してください。

一般の方も参加を

秋田県公民館大会

「学び続ける心を育て、豊かな地域づくりのために」をテーマに、第四十一回秋田県公民館大会が本町で開かれます。参加を希望される方は中央公民館または各地区公民館職員へご連絡下さい。参加費は無料です。

▽会期

9月5日（木）～9月6日（金）

▽会場

主会場 広域体育館
分科会場 役場、センター

▽主な内容

△5日▽

・アトラクション
・新関ささら（昭和町）
・大瀧村手踊り（大瀧村）
・天翔太鼓（五城目町）
・分科会
・6分科会で家庭教育や生きがいづくりなどを討議
△6日▽
・記念講演
・演題「北海道で考える」
・講師 倉本 聡
※主にテレビのシナリオを書いている放送作家で、代表作に「北の国から」「昨日、悲別で」など。

五城目町 特別展

町の文化財を展示

五城目町森林資料館（五城目町）では、特別展「五城目町の文化財」を開催します。期間は八月一日～十一月三十日まで。

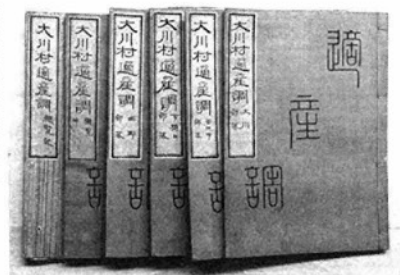
町では昭和四十七年に文化財保護条例を制定。昭和五十年には町文化財として十六点を指定し、以後毎年指定を行い、現在では九十五点（件）のぼっています。

今回展示される主なものは
縄文の遺跡・中山遺跡から出土した、「遮光器土偶頭部」。五城目焼「貼花文甕」。江戸時代の国学者・平田篤胤が書斎の入口に貼った「口演」。石川理紀の助によってまとめられた「大川村適産調」など。

「貼花文甕」



「大川適産調」



▽入場料
一般100円 小・中学生50円
※期間中 休館日なし。

▽開館時間
10月31日まで（9時～17時）
11月1日から11月30日（9時～16時）
▽前期 8月1日～9月30日
▽後期 10月1日～11月30日
▽開館時間
10月31日まで（9時～17時）
11月1日から11月30日（9時～16時）

町長の主な予定（8月）

- 8月1日／町功労者今村久吉郎様誕生祝（米沢町）
- 8月1日／治山林道促進大会および日本治山治水協会総会（日本都市センターホール）
- 8月2日／部課長会議（役場）
- 8月2日／アンドレア先生の母親来町歓迎会（町民センター）
- 8月2日／上高崎町内会町政座談会（上高崎集会所）
- 8月5日／長寿祝（新畑町・渡辺ミヨ様）
- 8月7日／市町村公立学校施設整備期成会総会（アキタニューグランドホテル）
- 8月8日／築地町町内会町政座談会（築地会館）
- 8月8日／南秋田地域行政懇談会（天王町立図書館）
- 8月9日／庁議（役場）
- 8月9日／旧盆行事（森山荘）
- 8月10日／町功労者宮城精市様誕生祝（蓬内台）
- 8月13日／町功労者永澤政治郎様誕生祝（築地町）
- 8月15日／新成人を祝う若人たちのつどい（町民センター）
- 8月16日／庁議（役場）
- 8月16日／男鹿南秋支部消防訓練大会／天王小学校グラウンド
- 8月17日／長寿祝（下樋口・嶋崎清治様）
- 8月17日／日・米ミネソタ州青少年交流会（五城目町）
- 8月18日／第21回五城目町こどもの祭典（雀籠運動公園運動広場）
- 8月18日／きやどっこまつり前夜祭（中央線）
- 8月18日／きやどっこまつり（中央線）
- 8月18日／五小・五中と千代田区小・中学校との剣道交流会（広域体育館）
- 8月20日／町功労者敬渡辺時治様3回忌
- 8月21日／新町町内会町政座談会（イトマン社員研修所）
- 8月23日／庁議（役場）
- 8月23日／杉沢町内会町政座談会（杉沢公民館）
- 8月26日／五城目町・琴丘・二ツ井短絡道路整備促進期成同盟会総会（役場）
- 8月27日／五城目町商工業振興座談会（五城目町商工会）
- 8月28日／戦没者追悼式（町民センター）
- 8月28日／簡易保険郵便年金協力地方公共団体協議会
- 8月29日／町内会長会視察研修（岩手県遠野市）
- 8月30日／老人福祉大会（農協会館）

友達いっぱいろうね

8月17日 子どもの祭典

開催

美しい自然の中で、多くの仲間たちと交流を図り、情操豊かな人間に成長することをねらいとする「第二十一回五城目町子ども祭典」が、八月十七日（土）、午後三時から、雀館運動公園運動広場を会場に開かれます。

今回の祭典には、栃木県から、西那須野町子ども疏水太鼓が訪れるほか、モンゴル共和国の皆さんによる踊りや歌などが披露されます。また、秋田市や千代田区、ミネソタの子どもたちも大勢訪れます。日程および内容は次のとおりです。

【日程】

▽15時
集合（雀館運動公園運動広場）
▽15時～16時30分

・自由コーナー

縄とび、竹馬、竹とんぼ、バドミントン、ドッチボール、わら工作作り、手芸、一輪車、ラジコンカー
・チャレンジコーナー

▽20時～21時
打ち上げ花火

【その他】

・雨天の場合は順延します。（但し、18日は除く）
・送迎バスを運行します。バスは定期バス停留所に停車します。帰りのバスは、祭典終了次第（午後8時40分頃）町民センター横から発車します。

バス運行時間表

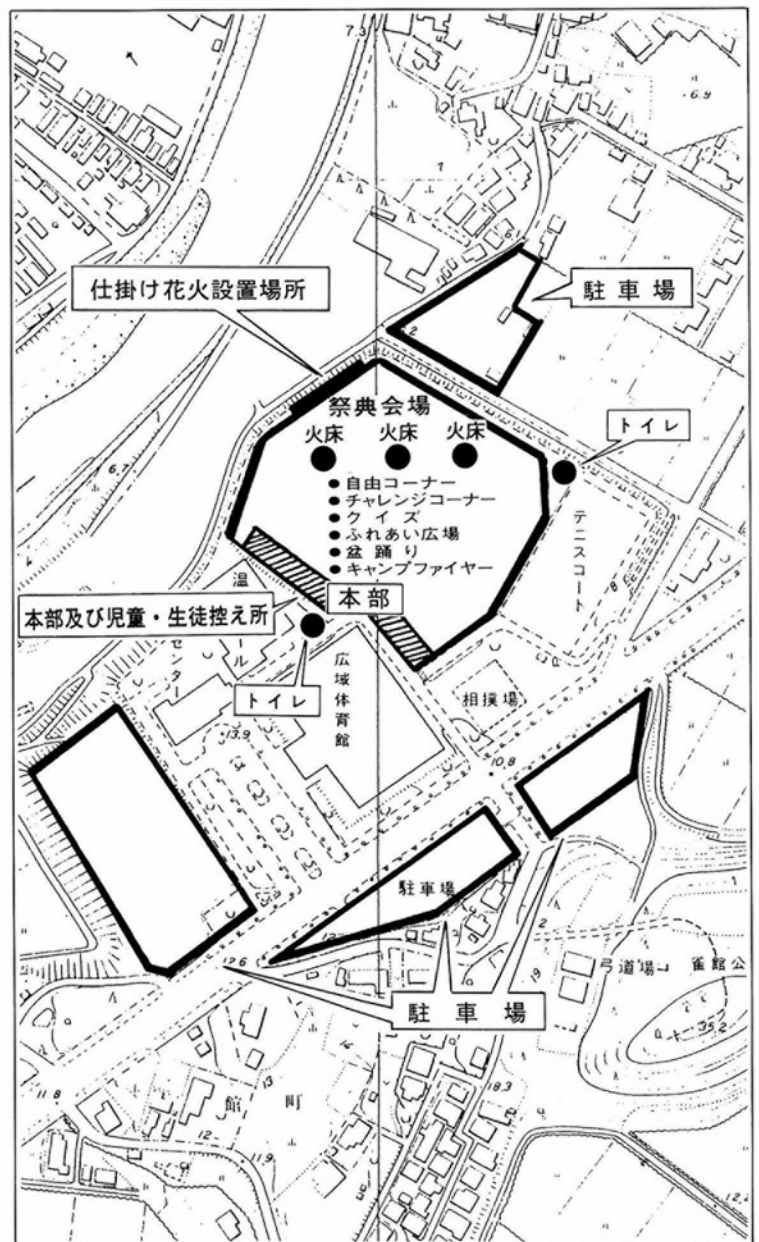
◇迎え

1号車	杉沢小学校前発	14:10	会場着	15:00
2号車	馬場目小学校前発	14:35	会場着	15:00
3号車	富津内小学校前発	14:25	会場着	15:00
4号車	内川小学校前発	14:25	会場着	15:00
5号車	大川小学校前発	14:35	会場着	15:00
6号車	大川小学校前発 (森山経由)	14:25	会場着	15:00

◇帰り

	行先（町内名）	経路	終点
1号車	合地、杉沢、坊井地、惣地、久保、館越、高崎	高崎	杉沢
2号車	水沢、平ノ下、中村、寺庭、小野台、蓬内台、町村、門前、帝釈寺	〃	水沢
3号車	大川1区～4区	八郎湯	大川
4号車	下樋口、石崎、西野、谷地中、曙町	谷地中	大川
5号車	野田、矢場崎、西磯ノ目町、大川本村	八郎湯	大川
6号車	岡本、浦横町	森山（岡本）	浦横町
7号車	浅見内、黒土	黒土	浅見内
8号車	湯ノ又、小川口	〃	小川口
9号車	下山内、上山内、富田、八田、台・御蔵下	富田	台・御蔵下
10号車	北村、高樋、高千、落合、脇乙	〃	高樋
11号車	小倉	自家用車	

会場案内図



平成3年度
町政座談会

小倉町内会から スタート!

「開かれた町政」のより一層の推進をめざしスタートした町政座談会は、今年で二年目を迎え、引き続き行われております。

この座談会は、町からの町政説明と、町内会の皆さんから意見・要望を聞き、町づくりに役立てることを目的としています。

今回は、四月から六月までに実施された、六町内会の主な話し合いの内容を紹介いたします。

◆小倉町内会（4月11日実施）
会長 佐藤 一氏

〔意見・要望〕

堤を利用した周辺の観光開発の促進を

〔町の説明〕

内川から富津内地区の山林2,500haを対象に、「杉の里モデル基地構想」として、



小倉町内会の座談会

館町町内会の座談会



県の総合発展計画に組み入れられ、堤の周辺には、キャンプ場、遊園地、屋外ステージなど、町も構想の実現に努力してまいります。

◆広ヶ野町内会（4月25日実施）
会長 佐々木勝太郎氏

〔意見・要望〕

町道入り口から五城目第一中学校までの道路に防犯灯の設置を

〔町の説明〕

通学路でもあり、現在の照明灯をもっと明るいものに取



中高崎町内会の座談会

田町町内会の座談会



中村町内会の座談会



り替えるよう検討しております。通学路の防犯灯については、年次計画で整備する予定です。

◆中高崎町内会（5月21日実施）
会長 館岡利一郎氏

〔意見・要望〕

都市計画により線引きされている農地整備はどのように進められるか

〔町の説明〕

高崎地区については、今後都市計画の見直しの中で検討します。農地の整備は、関係住民の総意により決まるので、良く検討していただきたい。

◆館町町内会（5月28日実施）
会長 金子松之助氏

〔意見・要望〕

町営住宅の老朽化が著しい、住宅の払い下げを早い時期に

〔町の説明〕

耐用年数を過ぎていますが、道路整備の対象となる可能性

もあり、道路計画が決まるまで、待っていただきたい。

◆田町町内会（6月7日実施）
会長 椎名金作氏

〔意見・要望〕

森山を大規模な公園に、また入り口の道路の拡幅を

〔町の説明〕

頂上までの道路舗装、五城目城までの車道開設など進めてまいります。入口については、木材集出荷所もあり狭いと思っております。杉ノ里モデル基地構想（森山・浅見内）もあることから、拡幅について検討したい。

◆中村町内会（6月20日実施）
会長 小玉俊一氏

〔意見・要望〕

水資源確保のため大堤を整備したいが、事業対象にならないか

〔町の説明〕

千ばつ対策は町全体で考えなければなりません。堤が埋没している状態では補助対象となりませんが、低利の融資制度があるので検討して下さい。また、現地を調べたところ、取水口がこわれていましたので、災害復旧工事で対応したいと思います。

★

町では町政座談会の開催を月三回予定しています。希望される町内会には、役場文書広報課（電話52-2100）へ。



第2回 森鈴旗争奪 秋田追分全国大会

日本一は
17歳の横川裕子さん
(秋田市)



優勝した横川裕子さん(秋田市)

「秋田追分」の日本一の歌い手を決める第2回全国大会が、七月十四日、広域五城目体育館で行われ、秋田市の横川裕子さん(十七歳、経法大付高二)が紫紺の「森鈴旗」を手に入れました。

大会には、県内外から百十四人がエントリーし、出場したのは九十四人。一般の部、高齢者の部、年少者の部門に分かれ、会場に詰めかけた約二千五百人の聴衆の前に、自慢ののどを競い合いました。

午前九時の開会式で幕をあけた大会には、一般の部七十六人、高齢者の部十六人、年少者の部に二人の合計九十四人が参加。予選では、歌の前半の前唄だけで審査が行われ、会場に詰めかけた約二千五百人の聴衆は、歌い手によって節回しが微妙に異なる前唄に耳を傾け、熱唱に拍手を送っていました。

一般の部は二次予選まで行われ、決勝に残った十人は今

度は本唄を披露。九人の審査員が声量、節回し、流し、伴奏との調和などについて審査した結果、秋田市の横川裕子さん(十七歳)が第二回大会のチャンピオンとなりました。

また、大会には本町からも一般の部に八人、高齢者の部に二人が参加。一般の部では伊藤美佐男さん(湯ノ又)、伊藤敏美さん(落合)、菅生勲さん(田町)の三人が予選を通過し、菅生勲さんが入賞

したほか、高齢者の部では一関銀治郎さん(築地町)が優秀賞を獲得しました。

大会の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

【一般の部】

▽優勝

横川裕子(秋田市)

▽準優勝

市川むつ子(藤里町)

▽3位

浅野麻里子(秋田市)

▽入賞

菅生勲(五城目町)

福本恵美(秋田市)

▽敢闘賞

嵯峨幸男(秋田市)

中村主二(秋田市)

伊藤文男(北海道)

▽努力賞

柏谷幸悦(雄和町)

斉藤学(河辺町)

【年少者の部】

▽最優秀賞

熊谷朋江(横手市)

▽優秀賞

佐藤恵(比内町)

【高齢者の部】

▽最優秀賞

松田操(田代町)

▽優秀賞

一関銀治郎(五城目町)

▽奨励賞

石川昭三(秋田市)

大場彦三(山形県)

【特別賞】

▽トップ賞

小玉由太郎(五城目町)

▽はるばる賞

猿田次夫(東京都)



入賞した菅生勲さん(田町)



「年少者の部」最優秀賞
熊谷朋江さん(横手市・鳳中学校3年)



「高齢者の部」最優秀賞
松田操さん(田代町・67歳)



ベスト20に入った伊藤敏美さん(落合)



ベスト20に入った伊藤美佐男さん(湯ノ又)



「高齢者の部」優秀賞
一関銀治郎さん(築地町・73歳)

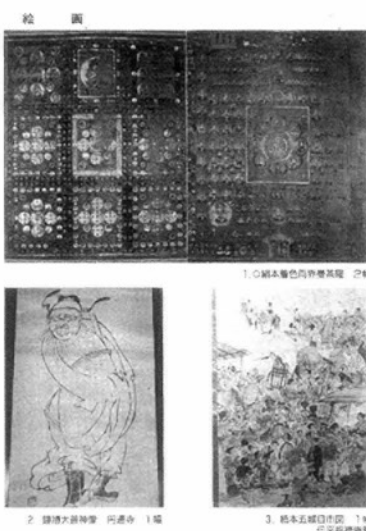
第2・第5分団へ配備

～ 小型ポンプの引き渡し式～



試験放水をする第2・第5分団の皆さん

小型ポンプの引き渡し式が、七月六日、役場庁舎前で行われ、新しい動力ポンプが第二分団と第五分団町村班に配備されました。この動力ポンプは、町が国の補助を得てこのほど二台購入したもので、台車搭載型、水冷二サイクルエンジン水平二気筒、三十六馬力、規格放水量は毎分一・一二六立方メートル以上となっています。引き渡し式では、町側を代表し菊地助役があいさつをし、引き続き、業者から操作の説明を受けた後、団員の皆さんが試験放水し性能を確認していました。



1. 結末五城目町 1巻 2. 結末五城目町 2巻 3. 結末五城目町 3巻 4. 結末五城目町 4巻

発行された文化財総合版

このほど、「図版・五城目町の文化財」第二十集・総合版が発行されました。総合版には、昭和四十六年五月に発行された第一集から昨年度発行の第十九集までに掲載された、有形文化財一七二点（内、町指定文化財七七点）が収録されています。建造物（四二点）、絵画（二二点）、彫刻（十一点）、工芸（二十九点）、書跡・古文書（十四点）、考古資料（四十三点）、歴史資料（三十二点）、有形民俗文化財（三十五点）、史跡（五五五点）、天然記念物（八八八点）がそれぞれの項目に分けられ、九十ページにわたって紹介されています。前半は図版（写真）、後半は解説となっています。文化財保護協会では、この総合版を有料でお分けいたします。部数に限りがありますので、ほしい方はお早目にお申し込みください。

〈販売価格〉
1冊 3500円
（送料別 250円）

〈販売部数〉
100部

〈申し込み先〉
〒018-117 秋田県南秋田郡五城目町上樋口字堂杜七五
五城目町中央公民館内
「文化財保護協会」
☎0188-52-4415

図版 五城目町の文化財

第二十集・総合版を発行

このほど、「図版・五城目町の文化財」第二十集・総合版が発行されました。総合版には、昭和四十六年五月に発行された第一集から昨年度発行の第十九集までに掲載された、有形文化財一七二点（内、町指定文化財七七点）が収録されています。建造物（四二点）、絵画（二二点）、彫刻（十一点）、工芸（二十九点）、書跡・古文書（十四点）、考古資料（四十三点）、歴史資料（三十二点）、有形民俗文化財（三十五点）、史跡（五五五点）、天然記念物（八八八点）がそれぞれの項目に分けられ、九十ページにわたって紹介されています。前半は図版（写真）、後半は解説となっています。文化財保護協会では、この総合版を有料でお分けいたします。部数に限りがありますので、ほしい方はお早目にお申し込みください。

杉ヶ崎墓苑

永代使用権利者を募集

五城目町杉ヶ崎墓苑は、昭和五十六年から墓地として使用を開始しており、現在、自由墓地、半規制墓地、規制墓地の三種類があります。町では、永代使用権を随時お譲りしていますので、希望する方は役場保健衛生課へ申し込みください。

▽所在地
五城目町字杉ヶ崎23番地の1

▽種別規模
①自由墓地
1区画の面積は4平方メートルで、墓石の大きさ、色は自由です。

②半規制墓地
1区画の面積は4平方メートルで、墓石の大きさは町で規格を定めますが、色は自由です。

③規制墓地
1区画の面積は4平方メートルで、墓石はアフリカ産1等材黒色で、町で定める規格の墓石を設置してあります。

▽永代使用料
①自由墓地（1区画）
23万5千円
※町外の方は25万円

②半規制墓地（1区画）
23万5千円
※町外の方は25万円

③規制墓地（1区画4㎡、墓石付）
36万7千5百円
※町外の方は38万2千5百円



杉ヶ崎墓苑

▽募集墓数
自由墓地 61区画
半規制墓地 35区画
規制墓地 96区画

▽墓地管理手数料
1区画4㎡ 年額 2千円

▽使用料の納付
永代使用料、管理手数料は申し込みと同時に納付してください。

▽その他
その他詳細については、五城目町墓苑に関する条例による。

▽申し込み、問い合わせ先
役場保健衛生課（☎52-2100内2122）
※申し込み用紙は役場にあり

町民が撮影に協力

水曜グランドロマン

「犬が狙われた」

ABSで8月14日放送

七月四日から十二日までの九日間にわたり、北ノ又、蛇喰、中村で、水曜グランドロマン・終戦特別企画「犬が狙われた」のロケーションが行われ、町民多数がエキストラとして出演、撮影に協力しました。

このドラマは、第二次世界大戦中に、犬の毛を兵隊の防寒具や飛行帽に使うために、犬を国に供出しようという動きが広がり、少年が愛犬を守り抜く姿を描いています。

昭和十八年、東京に住む少年啓太は、父親の故郷秋田を訪れ、秋田犬の子をもらい、ヤマトと名付けます。東京で一緒に暮らすのが、十九年に供出命令が出されヤマトと一緒に秋田へ疎開。しかし、終戦の年の二十年には秋田でも命令が出されます。犬を必死に守ろうとする少年の姿を通して、このドラマは戦争の悲惨さを訴えています。

中村で行われたロケーションでは、村民に扮した町内の皆さんが、少年と一緒に村長の供出命令を聞くというシーンが収録されました。モンペやワラジ姿の皆さんは、ちょっと緊張の表情でしたが、りっぱにエキストラの役を果たしていました。

ドラマの放送日は、今月の十四日、ABS秋田放送で午後九時からです。



エキストラとして出演した皆さん

馬場目川から1メートルを超す巨大鯉

一 川崎付近で菊池さん釣り上げる



釣り上げた巨大鯉を手にする菊池さん
(7月9日、金子光吉さん撮影)

五城目町と八郎潟町の町境(川崎)付近の馬場目川で、七月九日午後一時過ぎ、一メートル五センチの巨大な鯉が釣り上げられ、関係者の間で話題となっています。

釣り上げたのは、二ツ井町出身で現在男鹿市のホテルに

雲仙 岳噴火見舞にと10万円

町役場職員互助会

五城目町役場職員互助会で

は、長崎県の雲仙岳噴火に伴う被災者への見舞金として、十万円を送ることを決めた。七月十日、互助会会長の菊池助役が秋田魁新報社を訪れ、林社長に見舞金を手渡ししました。

見舞金を手渡す菊池助役



雲仙・普賢岳の早期終息と、島原市・深江町の皆さんが、一日も早く安心して暮らせる日を迎えることができるよう祈っています。

特別寄稿

私の健康法

歩こう会副会長

村上 一 (79歳・新畑町)

私の健康法は「歩く」ことです。洋服屋なので全身を動かす機会が少なかつた私は、もっと体を動かして丈夫になろうと、昭和四十一年五月、当時の五城目町公民館長故北嶋諒一氏によって発足された「五城目町歩こう会」に入りました。

以来二十六年。春は四月から、秋十月まで毎週日曜日、休むことなく歩き続けてきました。朝六時に御蔵町の小玉写真館前に集合。毎回毎回目的地を決め、片道一時間ほど、約八キロを歩きます。名所旧跡、神社・仏閣、誘致された工場なども見学し、とても勉強になります。

こんな年になれば、足が弱くなったりするのが普通ですが、おかげさまで足腰はもちろん、身体全体が丈夫です。また、晩の風呂上がりには、竹ふみ運動を十分間します。その他、いきいき百日運動、ゲートボールもしています。これからも、健康のためにずっとずっと続けていきたいと思っています。



歩くことが私の健康法

無事故で楽しい夏休み

— 大保、大小で交通安全教室 —



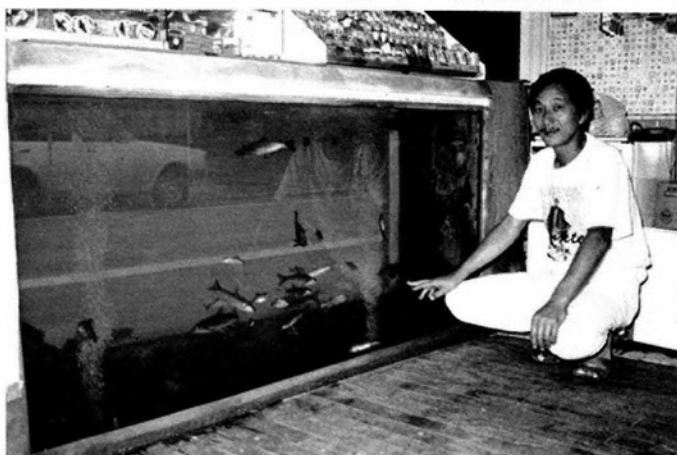
横断歩道でのルールについて指導を受ける園児たち(大川保育園)

大川保育園と大川小学校で、七月十七日、交通安全教室が開かれました。主催は大川地区交通安全協会。この教室は、夏休み中に交通事故に合わないようにと毎年実施されているもので、秋田臨港署と大川駐在所の協力を得て実施されたものです。

最初に行われた大川保育園では、横断歩道を渡る時の約束ごとである標識についてと横断歩道を渡る訓練が行われました。また、大川小学校では低学年と高学年の二班に分かれて行われ、「一人の事故者も出さず、楽しい夏休みを過ごそう」と誓い合っていました。

ミニ水族館に魚いっぱい

— 一番町の本間釣具店 —



「川を大切に」と本間さん

一番町の本間釣具店に、このほどミニ水族館が完成し、話題となっています。釣具店の主人・本間謙さんが一カ月をかけて造ったもので、イワナ、ヤマメ、アユなど馬場目川に棲息する魚二十五種類が元気に泳いでいます。中には、絶滅寸前のビワヒガイなども。本間さんは、「釣り好きの人たちが魚を持ってくるのを助けて、今、馬場目川は木の伐切や河川工事、ゴミの投げ捨てなどで、魚にとってとても住みにくい川となっています。この魚たちを見て、町民のみなさんが川を大切にしてくれればうれしい」と語っていました。



寄贈された「山ゆり」

役場、森山荘に山ゆりを寄贈
— 山ゆりプロジェクトチーム —

このほど、五城目町観光協会山ゆりプロジェクトチーム(代表・山田国三氏)の皆さんが、町役場と老人ホーム森山荘に、山ゆりを寄贈してくださいました。

このチームは、町の花である「山ゆり」の栽培技術確立を図り、また、全世帯に配付して、山ゆりを町民の皆さんにもっと愛してもらおうと、二年前に組織され、研究を進めているもの。今年は昨年以上にみごとな花を咲かせ、役場を訪れる皆さんや、森山荘の皆さんは、山ゆりの大輪と、特有の匂いを楽しんでいます。

盆踊りや出店で大にぎわい

— 馬場目保育園「ちびっこ夏まつり」 —



みんな輪になって盆踊り

新園舎のお披露目と地域住民との交流を図ろうと、七月二十日、馬場目保育園で「第一回ちびっこ夏まつり」が子どもたちや父兄、住民ら二百人以上が参加し行われました。

子どもたちは、出店で焼そばやおにぎり、アイスを食べたり、「ねぶながし」では、自分で飾りをつけた竹を一本ずつ持って、太鼓のリズムに合わせてホールの中を練り歩きました。青年会の協力で行われた「盆踊り」では、ゆかた姿の子どもたちが輪になって踊っていました。また、しかけ花火の「ちびっこ夏まつり」の文字が夜空に浮かび上がると歓声が上がっていました。

ふれあい広場

おらほの
自慢っこ

館町町内会

本間与四郎



ゲートボールの強さも町内の自慢っこ

ゲート玉 打てば歳の差
もう見えぬ

私達の町内は、今の中川原町内会の雀館区域の隣組として中川原に所属していましたが、公営住宅の建設で急に世帯数が五十三戸に増加し、地理的に、また町の町政協力員制度の発足を機会に昭和三十五年五月十四日、中川原から分離し館町の誕生となりました。馬場目岳から昇る朝日を拝し、町内の人々の一日が始まり、真紅に燃えた太陽が男鹿の山に沈むのを見て、今日一日の幸せに感謝しつつ夜の静かな町内になります。小高い丘、雀館公園の一角にあり、森山を正面に仰ぎ、本町部を一望に見渡すことの出来る町内は外にないでしょう。花が咲き鳥が鳴き、かもしかが通る自然一帯の散策地帯で、町や観光協会が唯一観桜会を催す場所です。有名です。町内には短歌、俳句、川柳など短詩型文芸を嗜む人が多く、特に川柳は町内の人だけで館町川柳楽しみ会を昭和四十九年に結成し頭の運動として盛会です。町内自慢っこはゲートボールの強いことです。毎年何回かの大会に参加し、入賞、優勝のトロフィーや賞杯、メダル等見事です。昨年も町が主催する国保ゲートボール大会で優勝しました。会長は懇親を兼ね、ゲートボールの指導練習会を開きその意気を盛りあげております。

環境整備最前線

“花だんづくり活動”を手伝って

広ヶ野町内会総務 小林憲竹



新しく発足したわが町内の老人クラブが“花だんづくり”に取り組み——ということだ。世話役の立場で介在したのが昨年の六月だった。中学校通りで、街路樹のコーストを利用した、いわゆる“道路花だん”である。周囲の雑木や雑草の刈り払いからはじまり、土壌は、肥料は、水やり設備は、病害虫は？と、みんなで小さなことまでの心くばりをしながらの作業でもあった。丹精が通じ、いつわることなく開花し続けた三カ月半、それは、単に花をつくるだけのものではなく、地域の環境を創る——という一片でもあったことを思うと、みんなの感激もより大きく見えたものだった。空かんや菓子袋の投げ捨て、犬の散歩による花折れなどに悩まされながらも、黙々と手入れを続けたこの方達に、地域を愛し、町をつくる——といった明日にむけての大きな姿を見たように思えてならない。今年に入って、広ヶ野には子ども育成会も加わり、希望ヶ丘も町内ぐるみでの参加となつて進められているが、その長さおよそ三〇〇m、水やりの設備、肥料購入など多額の自費を投じての作業でもあるという。仕事や職場が核家族化を進めているなかで、めでたいことも悲しいことも、もちろん病氣も食事も、すべてが合理化、近代化という名のもとに身軽さを求め、家のなから地域からどんどん飛びだすスタイルに変わってきていると、いま、この人々の花づくりは、なにか得がたい多くのものを創ってくれているのではないだろうか。少しずつではあるが、中学生のさわやかな挨拶も聞けるようになり、これもみんな花がもたらしてくるなごやかな心のふれあいに違いない。手がけるごとに成長し、変化する花を通じて、美しいものをみて美しいと感じる心が、生あるものに愛をそそぐ心をはぐくむとすれば、それはやがてわたしたちの地域や町をつくり、地球規模での環境づくりにつながることを期待するのは、ひとりわたしの欲ばりな思いであろうか。



御中元

ご贈答品は当店にご用命下さい

酒専門店

タカツ

五城目町中央通り 電話52-2262
フリーダイヤル 0120(15)2262

寛文五年堂
いなにあ手繰うどん

寛文五年堂
いなにあ手繰うめん

初のグラウンドゴルフ大会

恋地特設ゴルフ場で



大会後、恋地山荘で行われた表彰式

弓道矢場崎クラブ

女子団体優勝を飾る



優勝を飾った、左から佐々木さん
山田さん、川波さん

七月二十一日、県立スポーツ会館弓道場で行われた、第四十二回秋田県民体育大会弓道競技において、本町の弓道矢場崎クラブ五城目Eチームが、みごと一般女子団体の部で優勝を飾りました。

今大会には、県内から男子三十八団体、女子十五団体が参加。同クラブでは、男子チーム、女子二チームを編成して大会に臨み、この内、佐々木るり子さん(三段・昭和町)山田芳子さん(初段・広ヶ野)川波紀恵さん(三段・岡本)のEチームが優勝を飾ったものです。皆さんは、「昨年は同じメンバーで準優勝でしたが、今年は優勝できてほんとうにうれしいです。来年は国体を目指します」と喜びを語っていました。

五一中男子体操

総合団体優勝に輝く



優勝を果たした五一中のみなさん

第四十回秋田県中学校総合体育大会体操競技が七月十三日と十四日の両日、県立体育館を会場に開かれ、五城目第一中学校が男子総合団体優勝を果たしました。

雪辱を果たしました。監督の杉沼先生は、「みんな体操が好きで、きびしい練習にもめげずまじめにやっています。優勝したメンバーはケガを押して自分の役割を果たしてくれました。今月の六日から盛岡で行われる東北大会での入賞を目指し、今一丸となって頑張っています」と喜びと抱負を語ってくれました。

優勝	上杉 弘子 (紀久栄町)	59点
2位	八柳清之助 (希望ヶ丘)	61点
B・B 3位	伊藤与四郎 (上山内)	65点
賞	一ノ関トシ子 (大川)	90点

グラウンドゴルフの普及拡大と技術向上を目的に、第一回恋地山荘グラウンドゴルフ大会が、七月二十二日、恋地スキー場内の特設グラウンドゴルフ場で開かれました。

大会は、八ホール・二ラウンドの計十六ホールで行われ、自然の中での変化に富んだコースに、参加者はとても楽しそうにプレーをしていました。成績は次のとおり。(敬称略)



温水プールの
利用について
温水プールは、
8月13日、
お盆休みのため
休館します。

第十回南秋選手権兼町対抗陸上競技大会が、八月二十五日(日)、昭和町の元木山陸上競技場で開かれます。参加申し込み、詳しい内容については、中央公民館(電話52-4415)伊藤まで。

南秋選手権の 参加者を募集

五城目町陸上選手権の参加者を募集
八月十一日(日)、五一中グラウンドで行われる、第十一回五城目町陸上競技選手権大会の参加者を募集しています。申し込みは八月四日までとなっています。申し込みや詳しい内容については、中央公民館(電話52-4415)伊藤まで。

お盆用 御赤飯・きりたんぼ

◎御赤飯	(5合)	900円
	(2.5合)	500円
	(1合)	200円

◎炭火焼きりたんぼ

低温室に保管しているあきたこまちを注文が入ってから精米します。
マイクロコンピューターによるガス火力調節機能付かまど炊き風炊飯器を導入。

《予約注文承ります》

手づくりの味
自然の味
ふるさとの味

さか
り
市

秋田県五城目町字上町142 ☎(0188) 52-2046

渡辺彦太郎 (下)

小野 一二



彦太郎は馬場目川改修の完工祈願のため太平山にのぼった。帰りに十六戸の萩形に寄ると昼食に出されたのはアワ餅だった。彼は山村の人々に米飯を食べさせたいと思った。山地に用水路を通し六町歩の棚田の開墾がおわったのは二年後の嘉永六年(一八三三)ペリー来航で騒然たる時であった。安政五年(一八五二)には戸村堰改修を手がけ、余水を利用して真坂の湖岸に約十五石の開田も行った。

馬場目川改修、萩形と真坂の開発は同時進行の形で行われていて、彼の精力的働きに驚くばかりである。これらに投じた私財は二万六千貫文余の巨額に達した。藩は永苗宇と一代帯刀御免をもって彦太郎に報いた。

庄司咄風日記に彦太郎が薬種買入れに訪れたという、注目すべき記録がある。長男綱松が国産薬種取立となっていて、それを裏付ける。阿仁地方にまで薬草・熊胆の仲買いをしていただけでなく、藩奨励の朝鮮人参や紅花、漆の集荷もしていたのではないかと想像される。殖産係でもあった彦松との関係は、この面からも考えられる。

師である彦松は河川改修完工を見ずに安政三年に没している。いずれ、手広い取引きによって彦太郎は大きな富を築いたのである。

慶応四年(一八六八)戊辰戦争が始まると、彦太郎は資金と武器を提供して農兵隊を組織している。明治の新時代になってからは、実業家の道を歩むとともに今日の社会福祉に当る事業を次々に実行した。

郷山への植林、困窮者雇用を優先させた如来堂新築(一八八〇)福祉基金運用の「陰徳講」創設(一八八三、渡辺諸家の互助組織「徳網祐民社」の創立などである。

彦太郎は月休の雅名で和歌と俳句をよくした。特に和歌は多作である。文芸の上で三友や孫右衛門との交遊が厚かった。孫右衛門とは社会事業家としてのつき合いがあり、彼の俳号月斎は彦太郎に兄事したからである。

石川理紀之助と二八歳年長の彦太郎は、歌人西善寺運阿に和歌を学ぶ同門として親しんでなく、句作を楽しむ者として交際が深かった。

五十目村は明治二九年五城目町になった。彦太郎は明治三一年(一八九〇)六月二七日に八二歳で亡くなった。しかし町民はその後小池町渡辺家を「彦太郎さん」とよび、今までそれはつづいている。

(次回 築地俊龍)

美容組合五城目班
休業のお知らせ

美容組合五城目班では、8月16日(金)17日(土)18日(日)をお盆休みのため休業します。なお、13日(火)は午前中営業します。

※10月から定休日が月曜日に変わります。

五城目理容組合
お盆休みのお知らせ

五城目理容組合では、8月16日(金)17日(土)18日(日)19日(月)をお盆休みのため休業



善意銀行
預託者
(敬称略)

- ・6月24日 5千円 西磯ノ目町 猿田豊 (亡父武治様の香典返しとして)
- ・6月25日 5万円 谷地中 佐藤輝夫 (亡父祐治郎様の香典返しとして)
- ・6月26日 6,800円 秋田建築労働組合五城目支部 工藤六男 (住宅デーパーティとき、まな板けずりの収益金を寄付したもの)
- ・7月3日 2万円 脇村 伊藤路夫 (亡母キエ様の香典返しとして)
- ・7月4日 5万円 落合 伊藤重孝

します。また、13日(火)14日(水)15日(木)は5時に閉店します。なお、12日(月)は営業します。

少年の日
標語

陰のない
家庭に育つ
明るい子

(亡祖母シミ様の香典返しとして)
・7月4日 14,335円 仲町 大村克己 (平成2年度五城目町定市場家主交付金を寄付したものの)
- ・7月8日 3万円 石崎 加藤隆一 (亡母ミサ様の香典返しとして)
- ・7月16日 3万円 上樋口下 猿田テル (亡義母ソノ様の香典返しとして)



善意
(敬称略)

- ・6月23日 包丁とき 10丁 (五城目小学校給食用)
- ・秋田建築労働組合五城目支部 支部長 工藤六男

氷を入れて
夏風味

馬場目川清流

お菓子のしばた

五城目町古川町 電話52-3238

最新システムグローワックス液

愛車はいつも綺麗がいい!

洗車会員募集

湖東商事 有限会社

きれいだき顔 面倒くさがり屋さん 集まって下さい。

五城目町大川国道7号線添い ☎75-3550・4317 (県内観光マップも用意しております)

カラープリント 30分 仕上げ

イトウカメラ

伊藤写真館

新畑町(ガーデン松竹向い) ☎52-3667

8月 町民カレンダー

1日
20日

- 1・森山荘「夕涼み会」(森山荘18時) ※岩城町町内会の協力で、盆踊り大会やカラオケ大会などを行います。
- 1・8・早朝健診(町内5カ所5時~7時30分)
- 1日(木)：浅見内公民館
- 2日(金)：湯ノ又公民館
- 6日(火)：富津内小学校
- 7日(水)：富津内地区コミュニティセンター
- 8日(木)：下山内公民館
- 1・31・役場庁舎ギャラリー「墨舟会作品展」(役場庁舎1階ギャラリー8時30分~17時) ※墨絵など約30点を展示します。
- 2・大川保育園「夕涼み会」(同保育園18時)
- ・上高崎町内会町政座談会(上高崎集会所18時30分)
- 3・杉沢保育園「夕涼み会」(杉沢小・中学校駐車場17時~19時)
- 4・町内対抗水泳大会(温水プール10時)
- ・内川保育園「夕涼み会」(同保育園18時30分)
- 7・母子健康手帳の交付と妊婦健康相談の日(役場保健室10時~15時) ※妊娠届(用紙は役場にありま)と印鑑を持っておい
- 19・乳幼児健康相談(役場保健室10時~15時) ※対象は平成2年7月と同3年1月生まれです。
- 森山荘「旧盆行事」(森山荘14時)
- 大川保育園「お泊まり会」(同保育園17時) ※対象は年長児。
- 15・新成人を祝う若人たちのつどい(町民センター14時)
- 17・第21回五城目町こどもの祭典(雀館運動公園運動広場15時)
- ・きやどっこまつり前夜祭(中央線20時30分)
- 17・18・童話子民話の夕べ(雀館公園11時20分)
- 18・五城目小学校と千代田区芳林小学校、五城目第一中学校と千代田区練成中学校との剣道交流会(広域体育館10時)
- ・きやどっこまつり91(中央線9時30分)
- ・全町盆踊り大会(中央線19時30分)
- 19・胃腸検診(町内17カ所) ※9月10日まで。
- 19・肺がん検診(湖東総合病院13時~14時) ※8月23日まで。

おたんじょう
おめでとうございます



工藤瑞紗ちゃん
3年6月1日

「おおかあさんの一言」
素直な明るい子に、そして
幸せになってね、み・ず・さ！

おみやみ 申し上げます

柴田純一	75歳	6月5日	古川町	伊藤徳應	54歳	6月19日	八田	安田フヂエ	76歳	6月29日	大川四区
村上一郎	74歳	6月9日	古川町	千田レエ子	58歳	6月22日	岡本一区				
佐藤祐治郎	66歳	6月9日	谷地中	小玉マチノ	82歳	6月24日	高田				
猿田ソノ	92歳	6月9日	上樋口下	小玉ミノ	84歳	6月25日	浦横町				
武田テル	60歳	6月13日	中高崎	加藤ミサ	80歳	6月27日	石崎				
阿部徹英	85歳	6月13日	上山内	伊藤シミ	103歳	6月28日	落合				
猿田武治	76歳	6月14日	西磯ノ目町	小松正直	68歳	6月29日	館町				

町の人口と世帯

7月1日現在

人口	14,454人	(-20)
(男)	6,856人	(-7)
(女)	7,598人	(-13)
世帯	3,944世帯	(+2)

※()内は前月との比較

工藤瑞紗	長女	6月1日	岡本一区
憲裕・ひとみ		6月5日	岡本一区
信之・征子	長男	6月5日	今町
祝雄・元女	二女	6月7日	広ヶ野
久保市真	三男	6月12日	岡本二区
清・昭子		6月14日	矢場崎
畠山紗絵子	長女	6月14日	岡本一区
一也・綾子		6月17日	岡本一区
佐々木聖夏	長女	6月22日	脇乙
工藤夏実	長女	6月22日	脇乙
辰・敏子		6月25日	寺庭
石井大輔	長男	6月25日	寺庭
朗・典子		6月25日	寺庭
畠山梓	二女	6月25日	落合
厚・有子		6月25日	落合

観光週間

月	火	水	木	金	土	日
7/29 ~8/4	暮らしのワンポイント 「日焼けの手入れ」					
5~11	こんにちは 保健婦です 「血圧について」					
12~18	路で語り、路で遊び、水と親しみ、橋でやすらぐ きやどっこまつり'91					



テレホン広報
5201-4141

テレホン広報
ごじようめ
ご案内